

⑤ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

ハウレンソウ生産システムの実用化・販売および、品質の良いハウレンソウの生産と周年安定販売

養液土耕栽培用希釈装置を応用し「ハウレンソウ生産システム」を開発して販売する。また、「ハウレンソウ生産システム」の導入により、低コストで安全安心かつ品質の良いハウレンソウを生産し、年間を通じて安定的に販売を行う。

連携体

農林漁業者 (有) 御光福園芸 (農業)

「ハウレンソウ生産システム」の開発・実用化において栽培・収穫記録、データ収集などを行い仕様決定に参加する。また、このシステムを導入してビタミンCやミネラル成分が高く、低シュウ酸のハウレンソウの販路を拡大し、年間を通し安定的に販売する。

中小企業者 (株) 栗原商店 (その他の小売業)

ハウレンソウ生産システムの開発、実用化により、全国のハウレンソウ生産現場(システム需要者)へ販売する。

連携参加者 千葉大学、わらべや日洋(株)(食料品製造業)

千葉大学は栽培環境に応じたアドバイス、システム実用化への助言、わらべや日洋(株)は販路の開拓・確立を支援する。

サポート機関等 群馬伊勢崎商工会、群馬県商工会連合会、地域活性化支援事務局

連携の経緯

(株)栗原商店は、養液土耕栽培用希釈装置を応用してハウレンソウ生産システムを開発・実用化するため、実際にハウレンソウ栽培している農業者でかつ研究熱心な農業者を探していた。(有)御光福園芸は、自社のハウレンソウの販路拡大には、品質の良いハウレンソウの生産と周年安定販売、及び生産の効率化による生産性の向上が必要であると強く感じていた。そこで両社が連携して、システムを共同で開発することになった。

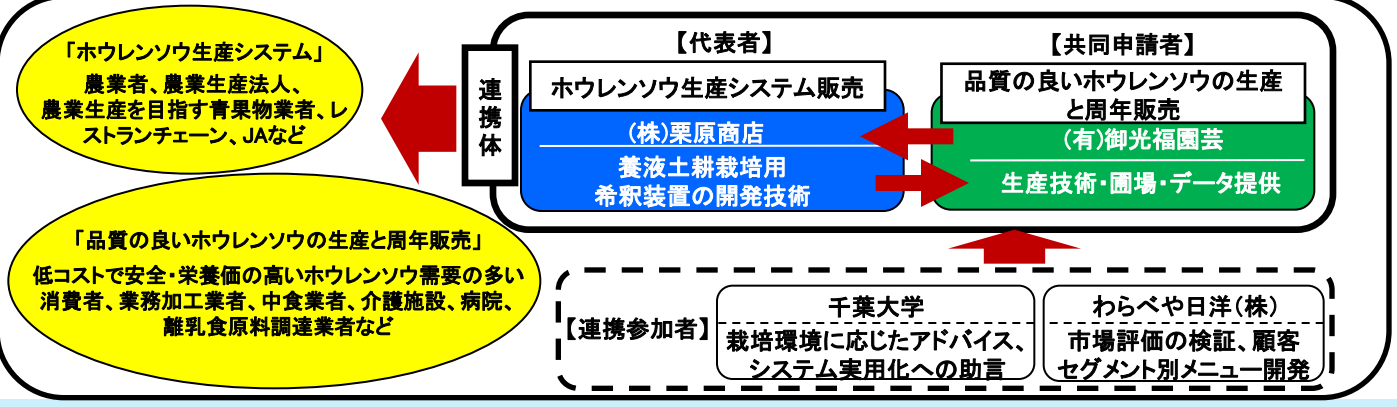


連携に当たっての課題や工夫等

(株)栗原商店は、養液土耕栽培用希釈装置の技術を応用したハウレンソウ生産システムを開発し実用化する。このため、千葉大学の日射比例型給液による節肥、環境負荷の軽減技術の研究成果を取り入れる。(有)御光福園芸は、同装置(試作システム)を導入し、播種時期、品種による吸肥、日射量、吸水量などの栽培・収穫記録、データ収集などを行い仕様決定に参加する。これによりシステムを完成させるとともに、同システムを導入して、低コストで安全安心かつ品質の良いハウレンソウを生産し、年間を通じて安定的に販売する。



*ビタミンC含有量
夏 20mg/100g
冬 60mg/100g
収穫時平均値以上を目指す



連携による効果

農林漁業者 5年で1,400万円の売上高増加、既存農地以外の遊休農地等50aの有効利用
ハウレンソウの販路拡大が可能になるとともに、生産性向上による規模の拡大が可能になり、遊休農地の活用に貢献できる。

中小企業者 5年で6,000万円の売上高増加、収益性の改善
売上の増加と収益性の改善が図れるとともに、顧客である農業者の生産性向上と売上増に貢献することが出来る。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社栗原商店 所在地：群馬県伊勢崎市境栄754
TEL：0270-74-0208 FAX：0270-74-0772
E-mail：kurihara@friend.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.com-einou.net/